

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-5	高等学校	国語	古典B	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
212 桐原	古B 354 古B 355	新 探求古典B 古文編 新 探求古典B 漢文編		

## 1. 編修の基本方針

本書は、高等学校学習指導要領「古典B」に準拠して編修した教科書である。教育基本法第2条にある目標と「古典B」の目標の両方の目標の達成を可能にするため、言語を通して伝え合う力を高め、表現力と理解力を育成しつつ国語力をさらに高められるよう、以下の点を編修の基本方針とした。

### ①指導しやすい2分冊形態と単元構成

多様な教育現場の学力レベルと指導形態に対応できるよう「古文編」「漢文編」の2分冊とした。  
さらに「古文編」「漢文編」それぞれを「I部」「II部」の2部構成とし、ジャンル別単元とした。

### ②教材の配置と学習の指針

各教材は、内容のまとまり・指導の時間数を考慮したうえで適切な分量の優れたものを精選した。  
また、学習上・指導上の効果を考慮して、より易しいものから難しいものへと配列した。  
各教材の末尾には、「読解」「表現」「発展」の問題から成る「学習の手引き」と、「古文編」では「文法」「現代語訳」問題、「漢文編」では「句形」「構文」問題を設け、学習の指針となるようにした。

### ③教材の理解と言語の学習

学習者の理解力養成のため、各教材の本文下段には内容理解を促す小問を付したほか、末尾の「学習の手引き」には内容理解を深め、主題に迫るための「読解」問題を設けた。  
また、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の学習に資するため、「古文編」では重要古語を、「漢文編」では重要句形を、各教材の本文下段にまとめた。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
●古文編 I部8単元 II部8単元	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、古文編I部に8単元、II部に8単元を設け、多彩な内容を持つ教材を配した(第1号)。 ②伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への理解を深められるよう、古文編I部に8単元、II部に8単元を設け、多彩な内容を持つ教材を配した(第5号)。	①古文編 8～137ページ 148～272ページ ②古文編 8～137ページ 148～272ページ
●古文編 I部「随筆I」単元	①古文編I部に「随筆I」単元を設け、個人の生き方を考える7教材を配した(第2号)。	①古文編 16～31ページ
●古文編 I部「随筆II」単元	①古文編I部に「随筆II」単元を設け、自然と環境を考える5教材を配した(第4号)。	①古文編 56～65ページ
●古文編 II部「随筆」単元	①古文編II部に「随筆」単元を設け、自然と環境を考える4教材を配した(第4号)。	①古文編 156～165ページ

●古文編 Ⅱ部「日記」単元	①古文編Ⅱ部に「日記」単元を設け、女性の生き方を考える8教材を配した(第3号)。	①古文編 166～185ページ
●古文編 Ⅰ部「古文解析」	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、古文編Ⅰ部に「古文解析」を設け、2教材を配した(第1号)。	①古文編 104～107ページ
●古文編 Ⅰ部「文法の要点」 1～3	①伝統と文化を尊重する態度を養い、文語の決まりや表現の特色などへの理解を深められるよう、古文編Ⅰ部に「文法の要点」1～3を設けた(第5号)。	①古文編 138～146ページ
●古文編 小林秀雄 「平家物語」	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるよう、古文編Ⅰ部に古文を現代からの視点で読み解く教材「平家物語」を配した(第5号)。	①古文編 86～91ページ
●漢文編 Ⅰ部6単元 Ⅱ部7単元	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、漢文編Ⅰ部に6単元、Ⅱ部に7単元を設け、多彩な内容を持つ教材を配した(第1号)。 ②伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への理解を深められるよう、漢文編Ⅰ部に6単元、Ⅱ部に7単元を設け、多彩な内容を持つ教材を配した(第5号)。	①漢文編 8～74ページ 76～161ページ ②漢文編 8～74ページ 76～161ページ
●漢文編 Ⅰ部「故事・寓話」 「思想」単元	①漢文編Ⅰ部に「故事・寓話」「思想」単元を設け、個人の生き方を考える12教材を配した(第2号)。	①漢文編 8～15ページ 62～71ページ
●漢文編 Ⅱ部「史伝Ⅰ」 「史伝Ⅱ」単元	①漢文編Ⅱ部に「史伝Ⅰ」「史伝Ⅱ」単元を設け、個人と他者との関係を考える7教材を配した(第3号)。	①漢文編 84～89ページ 130～147ページ
●漢文編 Ⅱ部「思想」単元	①漢文編Ⅱ部に「思想」単元を設け、個人の生き方を考える9教材を配した(第2号)。 ②漢文編Ⅱ部に「思想」単元を設け、生命と自然を考える9教材を配した(第4号)。	①漢文編 148～161ページ ②漢文編 148～161ページ
●漢文編 Ⅰ部「漢文解析」	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、漢文編Ⅰ部に「漢文解析」を設け、3教材を配した(第1号)。	①漢文編 72～74ページ
●漢文編 Ⅱ部「漢文の要点」	①伝統と文化を尊重する態度を養い、訓読の決まりや表現の特色などへの理解を深められるよう、漢文編Ⅱ部に「漢文の要点」を設けた(第5号)。	①漢文編 162～165ページ
<b>3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色</b>		
一般的な教養を高めるとともに、専門的な知見に触れられるよう、「古文編」に「コラム(1～5)」、「漢文編」に「コラム(1～3)」を設けた。(「古文編」54～55ページ、103ページ、130ページ、205ページ、273ページ、「漢文編」22～23ページ、39ページ、103ページ)		

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-5	高等学校	国語	古典B	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
212 桐原	古B 354 古B 355	新 探求古典B 古文編 新 探求古典B 漢文編		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

個々の教材の採録にあたっては、全体として、学習指導要領の「2内容」の各事項に沿った指導ができるよう、優れた表現と構成を持ち、主題や内容が明確で、適度な長さのものを厳選した。また、本文の学習をより深め、補佐するための資料として、巻頭巻末に「付録」を設けた。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
<p>●古文編</p> <p>I 部</p> <p>①「説話」単元 (3教材)</p> <p>②「随筆Ⅰ・Ⅱ」単元 (12教材)</p> <p>③「物語と日記」単元 (9教材)</p> <p>④「歴史と軍記」単元 (6教材)</p> <p>⑤「物語」単元 (3教材)</p> <p>⑥「和歌と俳諧」単元 (5教材)</p> <p>⑦「近世文学」単元 (2教材)</p> <p>⑧「古文解析」単元 (2教材)</p> <p>⑨「文法の要点」</p> <p>⑩「古典の魅力ー現代からの視点 平家物語」</p> <p>⑪「コラム」</p> <p>⑫「古文ジャンル解説」</p> <p>II 部</p> <p>①「説話」単元 (3教材)</p> <p>②「随筆」単元 (4教材)</p> <p>③「日記」単元</p>	<p>ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。</p> <p>イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。</p>	<p>●古文編</p> <p>I 部の各教材の本文下段にまとめた重要古語および末尾に設けた「文法」の問題 8～137 ページ</p> <p>II 部の各教材の本文下段にまとめた重要古語および末尾に設けた「現代語訳」の問題 148～272 ページ</p> <p>「古文解析」の各教材の末尾に設けた「解析」の問題 104～107 ページ</p> <p>「文法の要点」 138～146 ページ</p> <p>「重要古語索引」 278～280 ページ</p> <p>「助動詞一覧表」 巻末 3・4</p> <p>「動詞活用表」ほか 巻末 5</p> <p>「助詞の主な意味・用法・接続」 巻末 5・6</p> <p>I 部・II 部の各教材の末尾に設けた「学習の手引き」の「読解」問題 8～272 ページ</p> <p>「古文解析」の各教材の末尾に設けた「まとめ」の問</p>

<p>(8教材)</p> <p>④「物語」単元 (7教材)</p> <p>⑤「評論Ⅰ・Ⅱ」単元 (11教材)</p> <p>⑥「歴史と伝説」単元 (3教材)</p> <p>⑧「近世の文章・戯曲・和歌」単元 (6教材)</p> <p>⑨「コラム」</p> <p>付録</p> <p>①日本古典文学史年表</p> <p>②重要古語索引</p> <p>③平安京条坊図／大内裏略図／内裏略図</p> <p>④京都付近地図</p> <p>⑤旧国名・都道府県名対照地図</p> <p>⑥古典参考図録</p> <p>⑦助動詞一覧表</p> <p>⑧動詞活用表ほか／助動詞の主な意味・用法・接続</p>	<p>ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。</p> <p>オ 古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めること。</p>	<p>題 104～107 ページ</p> <p>Ⅰ部「随筆」単元 16～31 ページ 56～65 ページ</p> <p>Ⅱ部「随筆」単元 156～165 ページ</p> <p>Ⅱ部「日記」単元 166～185 ページ</p> <p>Ⅰ部・Ⅱ部の各教材 8～272 ページ</p> <p>「コラム1～5」 54～55 ページ 103 ページ 130 ページ 205 ページ 273 ページ</p> <p>「古典の魅力ー現代からの視点 平家物語」 86～91 ページ</p> <p>Ⅰ部・Ⅱ部の各教材 8～272 ページ</p> <p>「コラム1～5」 54～55 ページ 103 ページ 130 ページ 205 ページ 273 ページ</p> <p>「古典の魅力ー現代からの視点 平家物語」 86～91 ページ</p> <p>「古文ジャンル解説①～⑦」 15・31・47・53・ 69・85・115 ページ</p>
<p>●漢文編</p> <p>Ⅰ部</p> <p>①「故事・寓話」単元 (6教材)</p> <p>②「史伝Ⅰ・Ⅱ」単元 (9教材)</p> <p>③「詩」単元 (14教材)</p> <p>④「文章」単元 (3教材)</p> <p>⑤「思想」単元 (12教材)</p> <p>⑥「漢文解析」単元 (3教材)</p> <p>⑦「コラム」</p>	<p>ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。</p>	<p>●漢文編</p> <p>Ⅰ部・Ⅱ部の各教材の本文下段にまとめた重要句形および末尾に設けた「句形」「構文」の問題 8～161 ページ</p> <p>「漢文解析」の各教材の末尾に設けた「解析」の問題 72～74 ページ</p> <p>「漢文の要点」 162～165 ページ</p> <p>「漢文重要語」 巻末1</p> <p>「漢文常識語」 巻末2</p> <p>「漢文句形一覧／再読文字一覧」</p>

<p>⑧「漢文ジャンル解説」 Ⅱ部</p> <p>①「逸話」単元 (4教材)</p> <p>②「史伝Ⅰ・Ⅱ」単元 (7教材)</p> <p>③「詩」単元 (3教材)</p> <p>④「文章」単元 (4教材)</p> <p>⑤「伝奇小説」単元 (3教材)</p> <p>⑥「思想」単元 (9教材)</p> <p>⑦「漢文の要点」</p> <p>⑧「コラム」</p> <p>⑨「漢文ジャンル解説」</p> <p>付録</p> <p>①中国文化史年表</p> <p>②漢文参考地図</p> <p>③春秋時代地図／戦国時代地図</p> <p>④漢文重要語</p> <p>⑤漢文常識語</p> <p>⑥漢文句形一覧／再読文字一覧</p>	<p>イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。</p> <p>ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。</p> <p>オ 古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めること。</p>	<p style="text-align: right;">巻末 7</p> <p>I部・Ⅱ部の各教材の末尾に設けた「学習の手引き」の「読解」問題 8～161 ページ</p> <p>「漢文解析」の各教材の末尾に設けた「まとめ」の問題 72～74 ページ</p> <p>I部「故事・寓話」単元 8～15 ページ</p> <p>I部「史伝」単元 16～21 ページ 48～61 ページ</p> <p>I部「思想」単元 62～71 ページ</p> <p>Ⅱ部「逸話」単元 76～83 ページ</p> <p>Ⅱ部「史伝」単元 84～89 ページ 130～147 ページ</p> <p>Ⅱ部「思想」単元 148～161 ページ</p> <p>I部・Ⅱ部の各教材 8～161 ページ</p> <p>「コラム1～3」 22～23 ページ 39 ページ 103 ページ</p> <p>I部・Ⅱ部の各教材 8～161 ページ</p> <p>「コラム1～3」 22～23 ページ 39 ページ 103 ページ</p> <p>「漢文ジャンル解説①～④」 47・89・91・159 ページ</p>
---	--	--